



北高夢ロード通信

第 16 号(2025.3)

豊北図書館をよくするために

会長 波多野宏之

本誌第 15 号(2024.7.20)で触れた豊北図書館のサービス改善への取組みのその後をご報告します。

国道 435 号沿いの道路標識は、豊北図書室が豊北図書館に変わったあと、ようやく 2 年後の 2024 年 7 月 29 日に、「図書館」抜きの「下関市立豊北中学校」から「豊北中学校・豊北図書館」と変更されました(写真 下)。市民(当会)からの改善要望がなければ、そのまま放置されたに違いありません。こうした市の対応の鈍さに対応するため、当会では図書館サービスについても最低限の改善要求をすべきと考え、下関市教育委員会、図書館当局に対して、2024 年 7 月 12 日付で要望書を手渡し、このことまでは前号に記したとおりです。

その後、10 月 9 日付で回答書が届きましたので、要望書とともに p.5~6 に掲載し、併せて回答に対するコメントも注の形で記しました。そのうちの二件について、ここで触れます。

まず、図書返却箱を総合支所に設置する件。図書館は山の上であり、車のない高齢者などには極めて不便な立地にあります。返却時だけでも負担を軽減するため、まずは総合支所に返却箱を置いてもらいたい、との要望に対し、本年 1 月 6 日より、豊北総合支所 2 階の地域政策課前のロビーに置かれて運用されています。



次に図書館内の照明不足解消の件。これは照明器具だけの問題ではなく、図書館(=校舎)屋根の防水が必要とのことで本年 2 月 1 日~28 日の工期で工事が終了。ただし、照明器具自体はその約半数が不点灯のまま、最終的な対応は新年度予算による、と何とも悠長なことです。良好な読書環境を確保するため、今後とも取り組みを進めていきたいと思えます。

さて、P.8 にご案内のように 2025 年度の総会が開かれます。本会は 2013 年の創立ですから、今年で 12 年目となります。一昨年の 10 周年に際し刊行した『「夢ロード」10 年のあゆみ』でも、今後の活動の見直しや会員・役員の若返りの必要について述べており、この一年、役員会でも回を重ねて協議していますが、とりわけ役員の世代交代が難航しています。

この間に下関市による「市民活動団体意識調査」が行われ、アンケート回答をしました。設問に年齢別会員数の項目があり改めて数え直してみますと、20 歳未満 0 人、20~29 歳 0 人、30~39 歳 0 人、40~49 歳 2 人、50~59 歳 2 人、60~69 歳 10 人、70~79 歳 33 人、80 歳以上 8 人となりました(一部推定)。しかも、このままでは本年度、80 歳以上が 21 名に急増します。(このアンケート後に、20 代の新入会 1 名。)

こうしたなか、〈アートの本棚〉には会員その他から、いわゆる〈終活〉の一環として、蔵書(美術図書、図録、漫画、分冊百科の類)やカセットテープ(落語、朗読等)など貴重な資料をいただくことが増えてきました。すべて利用に供されており大変ありがたく思っています。こうした個人の〈終活〉と同様、組織の〈終活〉についても、もはや現実的な問題として考えざるを得ないとも言えます。総会ではこうした点についても話し合いますので、是非多くの会員が出席されるよう願っています。

＜ギャラリー夢ロード＞第22回展 LPレコード・ジャケットとその時代 Part 2 フォーラム杜屋コレクションより

11月5日(火)～12月1日(日)開催。

今回は、豊浦町黒井で活動する標記の団体のコレクションから、ジャケット約150点、関連図書・雑誌約50点を展示しました。

①クラシック、②ジャズ、③ロック/ポップス/ニューミュージック、④イーージーリスニング、⑤クリスマス・アルバム、⑥様々な意匠の6部構成。第6部では、SPレコードの冊子体「アルバム」や麻布を用いた装幀など珍しい作品も展示されました。

11月26日(火)には、下関北高校総合文化部生徒4名、教員4名が来場し、新旧の音楽メディアを巡って会話が弾みました。

展示会終了後、12月3日(火)～1月5日(日)、豊北生涯学習センターに巡回。

(波多野)

＜音楽とお話のタベ＞11月8日(金)

11月5日(火)～12月1日(日)に開催された「LPレコード・ジャケットとその時代 Part2～フォーラム杜屋コレクションより～」展。その期間中の「音楽とお話のタベ」のトップバッターはギャラリー夢ロードの家主木本久信さん。相棒のギタリスト高村栄さんを従えて「ロック、ポップスの歴史/ギター弾き語り」と題して、主としてブルースの誕生から発展の歴史を、見事な演奏・歌と巧みな語りで観客を唸らせてくれました。

ブルースの発祥はアメリカ南部のミシシッピ・デルタ。奴隷制度のあった時代、奴隷として過酷な労働を強いられていた黒人たちが、自分たちの苦悩や悲しみの感情など、心の叫びを歌にしたものが初期



のブルースだと言われています(諸説あります)。そのブルースがミシシッピ川をさかのぼりながら発展し、多くのミュージシャンに影響を与えながら新たな音楽を生み出していました。

200年以上もの間歌い継がれてきた「アメイジング・グレイス」から始まって、ブルースの女帝ベッシー・スミスやビッグ・ビル・ブルーンジーといったブルース・シンガーの歌曲を披露。さらにビートルズの「ヘルプ」とローリング・ストーンズの「ワイルド・ホース」「むなしき愛」は知っている曲だけに嬉しくなりました。RCサクセションの「スローバラード」、スガシカオの「プログレス」も初めて聴きましたが、ブルースの影響を受けているのだと納得しました。アンコールのマディ・ウォーターズの「フーチ・クーチ・マン」、予想外の展開だっただけに最高に盛り上がりました。ギャラリーがライブハウスに転じたようで、いつもとは違う雰囲気音楽とお話のタベに酔いしれました。(文責:白岡)

＜音楽とお話のタベ＞11月15日(金) ベートーヴェン 交響曲第6番「田園」 へ長調 作品68 (古屋 優)

作曲:ルードヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827) 作曲年:1807～1808

初演:1808年12月25日

指揮:ヘルベルト・ブロムシュテット

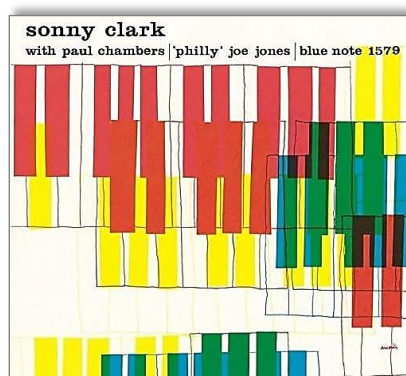
演奏:ライブツィヒ・ゲバントハウス管弦楽団

①田舎に到着した時の愉快的感情②小川のほとりの情景③田舎の人々の楽しいつどい④雷雨・嵐⑤牧歌・嵐の後の喜ばしい感情

＜音楽とお話のタベ＞11月22日(金) Jazz 名演聴き比べ♪～ジャケットからジャズが聴こえる～♪ (白岡勝典)

コーツ・ザ・カウントより ジャンプ・フォー・ミー (ショーティ・ロジャース(tp)他)/サムシング・エルスより インヴィジブル(オーネット・コールマン(as)他)/ポートレイト・オブ・クリスより アローン・トゥゲザー(クリス・コナー(vo)他)/アス・スリーより ウェイディン(ホレス・パーラン(p)他)/テイルズ・オブ・アナザーより トリロジーⅢ

(ゲイリー・ピーコック(b)他) /シティ・スケイプより 夜の翼(マイケル・ブレッカー(sax)他) /ジ・アライヴァル・オブ・ピクチャー・フェルドマンより ワルツ(ピクチャー・フェルドマン(vib p)他) /クワイエット・ナイツより イパネマの少年(ダイアナ・クラール(p, VO)他) /ソニー・クラーク・トリオより 朝日のようにさわやかに(ソニー・クラーク(p)他)
(写真 下)



<音楽とお話の夕べ>11月29日(金) クリスマスの名曲集(市倉栄治)

以下、全15曲

ジングル・ベル(フランク・シナトラ) /きよしこの夜他(ノートルダム大聖堂聖歌隊) /ホワイト・クリスマス(レイモン・ルフェーヴル) /ウィンター・ワンダーランド(ノラ・ジョーンズ) /クリスマス・イヴ(山下達郎) /ザ・ビートルズのクリスマス EP 盤 [1963] /ムーン・リヴァー(ヘンリー・マンシーニ) /ザ・クリスマス・ソング(ナット・キング・コール) /メリー・リトル・クリスマス(ザ・シンガーズ・アンリミテッド) /ハッピー・クリスマス[戦争は終わった](ジョン・レノン) /星に願いを(フランク・チャックフィールド)

<ギャラリー夢ロード>第23回展 笑顔と学び 下関市立豊北中学校生徒 作品展 2025

1月28日(火)~2月9日(日)開催。

2022年の第1回に続き、同校の協力のもと各種作品 約150点を展示しました(写真 右)。従来の、図工(絵画等、木工、彫刻、粘土細工)、習字、修学

旅行記のほかに、理科(自由研究)の実験報告や観察記では、磁石の力を示すコマ、使い捨てカイロの作成、うがいぐすりによるビタミンチェック、燕の巣の形態の違い、などが研究対象となっており興味深かった。2月6日(木)には、下関北高総合文化部の生徒5名、教員2名が来場。中学時代を懐かしがったり、学校によって図工の教材に違いがあることなどが話題になった。(波多野)

<音楽とお話の夕べ>1月31日(金) Jazz 名演聴き比べ♪~ピアノソロ篇~(白岡勝典)

エコーズ・オブ・ア・フレンドより ネイマ(マッコイ・タイナー) /セロニアス・ヒムセルフより ラウンド・ミッドナイト(セロニアス・モンク) /アローン・アット・モントルーより クバノ・チャント(レイ・ブライアント) /アフリカン・ピアノより ブラザー・ジョー・フロム・キリマンジャロ(ダラー・ブランド) /ケルン・コンサートより パート1(キース・ジャレット)

<音楽とお話の夕べ>2月7日(金) ブラームス ヴァイオリン協奏曲 二 長調 作品77(古屋 優)

■ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77

作曲:ヨハネス・ブラームス(1833~1897)

作曲年:1878年(1879年1月1日初演)

指揮:クラウディオ・アバド

演奏:ヴィクトリア・ムローヴァ(ヴァイオリン)、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

■モルダウ(連作交響詩「わが祖国」より)

作曲:ベドルジーバ・スメタナ(1824~1884)

指揮:アンドレ・プレヴィン

演奏:ロスアンジェルス・フィルハーモニー管弦楽団



地域探求授業の成果を 全生徒の前でプレゼンする

担当である岡崎、白岡、藤岡は当初から豊北らしい内容となるよう材料提供をしてきた。

先日、その成果を全校生徒の集まる場でプレゼンする機会が設けられ（1/29）、福祉、観光、防災等各グループの活動内容も初めて知ることができた。担当する環境・自然グループでは、後期は「海岸の漂着ゴミ」に着目。「漂着ゴミモンスター」を作って絵本にするという目標を立てた。二見海岸で収集した漂着ゴミを教室に持ち帰り、モンスターを制作した。これがプレゼンされたのである。

このほかに豊北小学校での「干し柿づくり支援」も続く。（藤岡）



↑漂着ゴミでモンスターを作っている様子（北高）

北浦蒙古襲来絵詞・紙芝居

「蒙古襲来絵詞」は、鎌倉時代後期、肥後の国の御家人竹崎季長が二度にわたる蒙古合戦に出陣し、その戦闘の様などを描かせた絵巻である。二度目の襲来の弘安の役に豊北町にも襲来したという言い伝えがあるゆえに、北浦という冠を付け、襲来時のこの地域の人々の様子を描きつつ、モンゴル襲来の全体を紙芝居にするという試みである。

豊北中で実施。今年3月まで月一回、全七回で完結。一回で十枚の絵、昼休みの時間帯で20分にまとめて上演。見に来てくれる中学生は少人数ながら、毎回何人かいることを励みになんとか完結できた。絵の専門家でもなく歴史の専門家でもない故に毎回四苦八苦でも楽しい半年であった。豊北中の先生、生徒のみなさんに感謝している。（岡崎）

読書を多様化する

～読書会「カフェ・リーブル」のこと3～

第7回9月27日、第8回1月18日開催。

世に数多ある読書会。主流は課題本式と呼ばれる課題図書1冊について話し合うもの。他に本を持ち寄る紹介型や、「サイレントブッククラブ」のように場所と時間だけを共有するパターンも出てきました。また近頃では、オンラインでこれらを実施する会も増えつつあります。カフェ・リーブルは全て紹介型。8人前後の参加者による個性溢れる選書とそれにまつわるエピソードは、普段なら自分が手に取らないような本たち（小説はもとより絵本や詩集、古典文学やフィクション等々）との出会いがあります。

脳科学者の茂木健一郎氏は、著書『頭は「本の読み方」で磨かれる』の中で、読んだ本の数だけ高いところから世界が見え、本を必要としない人と比べて人生の深みや喜びに差がつくと言っています。紹介型の読書会は、これらを得る絶好の機会ではないでしょうか。

次回のカフェ・リーブルでお会いできることを楽しみにしております！（溝口あや）

<アートの本棚>にインドネシア語本

本誌第14号（2024.3.20）でクメール語（カンボジア語）の本80余冊が設置されたこと（2023年10月）を報告しましたが、翌年4月には地元で働くカンボジア人青年たちが他地域に移りました。そこで、新たに地元に入ったインドネシア人青年たちに対応するため、2004年8月、引き続き北九州多言語図書館のインドネシア語の本を置くこととし、2025年3月1日現在、約100冊を利用に供しています。（波多野）

読書週間北高図書室展示

10月27日～11月9日の読書週間に、恒例の<アートの本棚>図書室展示を行いました。事前に図書委員5名、教員1名の来訪があり選書。「見る！動く！描く！芸術の海～新しい美の世界によろこそ！！～」と題して57冊が展示されました。（波多野）

豊北図書館への要望書と回答書

2024年7月12日

下関市教育委員会教育長 磯部芳規 様

下関市立中央図書館長 江原理恵 様

下関市立豊北図書館長 熊井一雄様

下関市豊北町滝部 218-5
北高夢ロード実行委員会会長
波多野宏之

要 望 書

平素、地域の図書館活動を推進していただき、感謝申し上げます。

さて、下関市立豊北図書館につきましては、2022年6月市議会において、下関市立図書館条例の改正により、従来の「豊北図書室」から「豊北図書館」へと位置づけが変更され、同年7月1日より公共図書館として当然受けられるべき複写サービスが遅まきながら享受できるようになったことは、大変喜ばしいことです。

しかし、下関市はこの変更について深く顧みることがないまま、豊北図書館への案内標識一つ設置することなく、市民からの指摘によって、図書館への移行後2年以上を経過した本年7月末までようやく道路標識への図書館名表示が行われる、と伺っています。

重要なことはこの道路標識にとどまらず、地域の公共図書館としてすぐにも改善すべき事項に着手していただくことです。この間、例えば、住民と中央図書館副館長、豊北図書館長との協議（2023年6月23日）及び豊北図書館現場職員への要望として蔵書構成の改善を再三求めておりますが、目下のところ改善の兆しが見えません。

そこで、以下のことについて、改めて、豊北図書館サービスの改善に早急に取り組みされるよう希望いたします。

記

1. 図書館行政の責任体制について

図書館当局は、豊北中学校内に置かれた豊北図書室は2006年の開設以来長年にわたって、「中学校内にある学校図書館であるから公共図書館ではなく、複写サービスの実施ができない」との誤った認識をもちつづけてきました。その原因の一つは、図書館の専門性に疎い非専門職である事務系職員が中央図書館や豊北図書室（当時）の上層部にあって行政上の責任を担ってきた（地域館においては他職との兼務）という構造的な要因にあると思われます。豊北図書館移行後に刊行された『第2次下関市立図書館基本計画』においても豊北図書館について旧態依然たる方策しか記されていないなど、こうした構造上の問題が関係していると思われます。このことについての見解をお伺いします。

2. 豊北図書館の立地と施設の利便性の向上について

豊北図書館は中心市街地から遠く交通不便で、急坂の丘の上に立地しており、しかも学校内という施

設環境のもとにあるため、地域住民の利用に不便です。図書館登録率（令和3年度 豊北5.8%、豊田20.8%）、住民一人当たり貸し出し点数（同 豊北2.1冊、豊田7.3冊）と他館に比して極端に低く、登録者一人当たりの貸出点数は、（同 豊北35.1冊、豊田33.6冊）は他館並みであることが、このことを如実に物語っています。施設環境について言えば、閲覧室の高い天井からの照明器具はほぼ常時一部が使用不可（電球切れを放置）で閲覧室全体が（とりわけ曇天の日は）暗い。照度500~750Lx（ルクス）がJISにおける読書の推奨照度です。豊北図書館は、これを大幅に下回り健康を害する領域に達していると思われるので、正確に照度を測定し、その結果を公表するとともに、適正な読書環境を保つべく改善されるよう要望します。

今後、豊北小学校と豊北中学校の統合が予定されているなか、豊北図書館の立地につき、その移転の可能性も含めた図書館利用の便宜改善についての方向性を伺います。広い豊北地区に図書館1館のみでは全く不十分であり、本来、分館、移動図書館、または配本車を運用すべきです。そこで、少なくとも当面の措置として、不便を軽減する手段の一つとして、先ずは図書返却箱を豊北総合支所に設置されるよう要望します。

3. 蔵書の増加と蔵書構成の改善について

図書館統計に明らかなように、豊北図書館の蔵書は、他館に比べて大幅に少ないのが現状です（令和4年度 豊北22,000冊、豊田52,000冊）。蔵書構成についても児童図書偏重が継続したままであり（同 一般図書と児童図書との割合 豊北1対1.07、豊田1対0.69）、あるいは百科事典一つないなど一般社会人用の参考調査に資する資料の欠落は目を覆うばかりです。今後、豊北図書館は、豊北中学校生徒100名のためにあるのではなく、人口7,600名の地域住民全体のためにあるとの認識のもと、現状を改善するために蔵書増加のための予算措置を講ずるとともに、購入方針を変更するなどして、蔵書構成の改善に着手されるよう要望します。

4. 資料複写サービスの改善について

豊北図書館移行後、複写サービスが受けられるようになったことは喜ばしいことです。しかし、住所氏名、利用資料名を記入した申込用紙が長期間保管されるのは資料利用におけるプライバシーの観点から問題です。少なくとも、コンピュータによる資料貸出記録の消去と同様の期間をもって、資料データと個人データを切り離すよう申込用紙の仕様改善を要望します。

また、現在の複写申し込み制度では、複写が出来るまで相当長い時間を要します。一定のルールのもと利用者が複写できるよう、複写機を閲覧室に置くか、またはコイン式複写機を導入されるよう要望します。

5. 上記につき、2024年10月12日（土）までに回答されるよう、お願いいたします。 以上

下中図第 1934 号
令和 6 年 (2024 年) 10 月 9 日
北高夢ロード実行委員会
会長 波多野宏之様

下関市教育委員会
教育長 磯部芳規
(公印省略)

要望書の回答について

平素より図書館行政につきまして、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、令和 6 年 7 月 12 日付けで提出のありました要望書につきまして、下記のとおり回答させていただきます。

今後とも引き続き図書館行政につきまして、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 図書館行政の責任体制について

図書館運営においては、地域の情報拠点として、市民の皆様のご意見を踏まえつつ、図書館サービスの向上に努めているところです。図書館長等の職員につきましては、司書資格の有無にかかわらず、図書館運営に精通した職員を配置しております*1。今後とも優秀な人材の確保とその能力を活かせる体制づくりに努めてまいります。

なお、当時の豊北図書室は、学校図書館法第 4 条第 2 項の規定に基づく学校図書館の地域開放として運営していたため、図書館資料の複写ができなかったことを申し添えます。

2. 豊北図書館の立地と施設の利便性の向上について

豊北図書館の照明器具の不点灯につきましては、利用者の皆様に大変ご不便をおかけしており、お詫び申し上げます。

調査したところ、これは電球切れではなく照明器具本体や配線の不具合と思われる、その一因として雨漏りの影響も考えられるため、先ず今年度に屋上防水工事を実施して、破損している天井ボードを改修いたします*2。その後も不具合が解消されない場合は、別途予算を確保し、改修してまいりたいと考えております。もうしばらくご不便をおかけしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。

また、一部市民の皆様から、豊北図書館は滝部の中心地から少し離れた高台に位置し、利用者にとって不便であるというご意見があることは承知しております。現時点では豊北図書館の移転は考えておりませんが、豊北地域の著しい高齢化とそれに伴う移動手段が課題であることは認識しておりますので、ご指摘いただいたように豊北図書館の立地についても、今後地域住民の方にご意見をお伺いしてまいりたいと考えております。

なお、豊北総合支所への図書返却箱設置のご提案につきましては、豊北図書館利用者の利便性を図る

ため、周知を含め早期に実施できるよう進めてまいります*3。

3. 蔵書の増加と蔵書構成の改善について

ご指摘のとおり豊北図書館は、豊北中学校内に設置されていたことから児童図書に重点をおいた蔵書構成になっておりますが、現在は一般図書の充実を図るべく資料購入しているところです。今後とも図書館資料の収集方針及び選定基準に基づいて収集するとともに、購入に係る予算確保にも努めてまいります*4。

4. 資料複写サービスの改善について

申込書の保存期間は、下関市文書取扱規定により 5 年と定められております。また、申込書の資料データと個人データを切り離すことについて、文書を保存管理するうえで好ましくないと考えております。個人情報については厳重に管理・取扱いしてまいりますのでご理解ください。

また、資料等の複写につきましては、現在インクジェット式の印刷機であるため時間を要しており、ご不便をおかけしております。豊北図書館は複写枚数の実績が少ないため、電子複写機の賃貸業者がないという実情がございますのでご理解くださいますようお願いいたします。

以上

回答書中の「」印は、本誌掲載に際し「夢ロード」側で付し、以下に注を加えた。

*1 下関市立図書館（地区館を含む）の（専門）職員について：中央図書館：（館長＝一般事務を含む）正規（専任）職員は 5 名のみ。うち司書有資格者 3（主幹＝館長補佐 1、主任 1、副主任 1）。会計年度任用職員 40（うち司書 25）地区館 2 館（彦島、長府）は、すべて会計年度任用職員。旧 4 町の地区館では、館長＝各教育支所長兼務の他はすべて会計年度任用職員。豊北図書館についてみると、館長＝豊北教育支所長 1、会計年度任用職員 4（うち司書 2、司書補助 2）（出典：『下関市立図書館年報 令和 5 年度』令和 6 年 3 月 31 日現在）

日本図書館協会編刊『日本の図書館：統計と名簿 2023』（2023 年 4 月 1 日現在）によれば、人口 20 万人～30 万人未満の自治体の専任職員数平均は、17.8 人であり、人口 25 万 4 千人の下関市図書館専任職員 5 名は、いかにも少ない。

*2 工事は、2025 年 2 月 1 日～28 日の工期で実施された。この期間中、図書館は閉館したが、他館からの借り受け図書の受け渡し等は可能であった。

*3 2025 年 1 月 6 日より、豊北総合支所 2 階地域政策課前ロビーに返却箱が設置された。

*4 豊北図書館の令和 4～5 年度の資料購入内訳

4 年度	一般図書	525 冊	814,357 円
	児童図書	345 冊	490,714 円
5 年度	一般図書	483 冊	809,939 円
	児童図書	295 冊	425,946 円

4 年 7 月、図書館に位置づけ変更。その翌年に蔵書構成及び予算上の配慮が行われた形跡はない。

<会員だより>

歴史地理探訪などをもっと

滝部の西楽寺に中山太一さんのお墓があります。昭和7年(1932)に私の曾祖父が寺の住職となったとき、太一さんは在阪でしたがお父様の小三郎さんが来られ、一緒に記念撮影をしました。その際、太一さんからのご提案で本堂改修のお話をいただきましたが、曾祖父はお断りをしたそうです。

さて、寺の裏手には毛利秀包(ひでかね)のお墓もあります(写真右下)。秀包は毛利元就の九男で、1601年、35歳で赤間関で亡くなっています。キリシタン信仰の方でした。その妻、洗礼名毛利マセンシアは引地君(ひきじのきみ)と呼ばれていました。豊北町滝部の神田口の踏切に「引地」と記された札がかかっていますが、その辺りに住んだからです。毛利と言えば、阿川の見晴らしのよい高台に阿川毛利のお墓もあります。

滝部にあるお墓としては、末森の少し奥まったところにある鷲頭自見(わしずじけん)のお墓も必見です。鷲頭自見は滝部の開作、奉公市の開祖として上市の市守神社に祭られています。この境内で昭和50年頃まで高校や青年団の相撲大会が開かれたことは、昨年の夢ロード総会後「北高相撲部を励ます」集いでも紹介されたことでした。

滝部の町には旧肥中街道が通っており、これは山口市吉敷から豊北町肥中までの道です。これはまた萩から下関に至る旧赤間関街道(北浦道)とも交わっており、滝部は豊北町のなかでも重要な位置を占めていたようです。今では三辻と呼ばれるところにある小さな表札で往時を偲ぶばかりです。豊北郷土文化友の会主催の歴史ウォークなどに参加したこともあります。自分で実際に歩いてみるのが大切だと感じています。

ところで今年は7年ごとに開催される浜出祭(はまいでさい)の年に当たりますが(4月6日)、滝部駅開業100年の年でもあります。2023年夏の大雨で山陰線が不通となり、昨

年6月、上り線で滝部駅までは電車が来るようになったとはいえ、粟野川鉄橋の架け替えが本年中に終わり、滝部～長門市間が復旧するのが待たれます。滝部駅は下関北高校の通学生にとっては、電車の待ち合わせなどで時間を過ごすところですから、夕方の時間帯にここで音楽のイベントを行うなどの企画はできないものでしょうか。

かつて豊北町には、滝部、阿川、神田、神玉、粟野、二見、田耕、角島小学校がありました。現在は統合して豊北小学校だけになっています。豊北中学校の前身は、豊北1中、2中、3中と角島中と4校ありました。現在豊北町滝部に、こども園、小学校、中学校、高等学校と四つの学校があるのはすごいことだと思います。これらの学校と協力し、児童生徒とふれあうことも大事だと思います。最近、小学校で読書会(昼休みに15分間、児童と一緒に各自静かに本を読む)が開かれると聞いたので、参加したいと思っています。

私は、これまで<アートの本棚>での読書会「カフェ・リーブル」、<ギャラリー・夢ロード>の展示会や音楽の夕べにもたびたび参加していますが、高校生の参加が少ないように感じます。生徒の数も少なくなり、部活など忙しくて参加しづらいのかもしれない。

ともあれ、お墓や旧街道などの歴史地理探訪などを夢ロードとして開催してはどうでしょうか。友の会などとの共催もよいかもしれません。今回、(20代の会員は初めてですが)会員に加えていただいて、私なりに貢献できればと思っています。(中山見敬)



2025年度 総会のご案内

2025年度総会および総会後の行事を下記の要領で開催いたします。

つきましては、本会報第16号同封の出欠はがきを4月21日(月)必着でご返送願います。

また、今回の総会では役員改選を行います。役員に立候補いただける方は、準備の都合上、4月3日(木)までに本ページ右欄下の当会連絡先のいずれかにお申し出ください。

記

日時：2025年4月26日(土)

会場：滝部公民館

■総会

14:00~15:00 (2F和室)

■総会后行事

15:00~16:45 (講義室)

紙芝居「北浦蒙古襲来絵図」

演者：岡崎新太郎

- ① 蒙古襲来前夜・モンゴル帝国と日本
- ② 文永合戦・戦闘の現実とモンゴル軍の撤退
- ③ 日本の船とモンゴルの海上軍勢力
- ④ 鎌倉幕府の緊張と沿岸防備
- ⑤ 弘安合戦・武士団の闘いと弘安の外征計画
- ⑥ モンゴル戦争落とす影
- ⑦ 弘安合戦後の東アジア

会員以外の多くの方々のご参加もお待ちしています。

事前申し込み不要

問い合わせ：080-5230^6032 (岡崎)

訃報

本会会員有田敏朗さんは、2024年9月17日、肺炎のため逝去されました。享年91歳でした。

有田さんは、滝部中学校、豊北1中、豊北高校などで美術の指導をされた後、本会創立の初期からの会員として多くの活動に携わられました。「有田敏朗アートの世界」「懐かしのスケッチ展」(ともに2015)、「G3 デッサン展」(2016)などに出品されました。2018年、<ギャラリー夢ロード>開設年には年間を通じたデッサン教室で下関北高総合文化部生徒を指導されたほか、ギャラリー企画委員(2018~23年度)としても貢献され、この間に「有田敏朗銅版画展」(2019)の開催が実現しました。

昨年2月骨折入院後からリハビリ中かけても、ベッドの上でスケッチを続けられた、とのこと。心よりご冥福をお祈りいたします。

北高へふるさと納税で応援を

【ふるさと納税】システムを利用、下関北高の教育活動充実を支援しましょう。詳細は県外在住会員宛今号同封の『山口県ふるさと納税の募集』の《払い込み取扱票》通信欄に下関北高校宛を記入、振込手続後、確定申告又は特例申請で税控除されます。

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10700/furusato/top.html>

問合せ先：北高夢ロード実行委員会 城石郁裕
E-mail : japolo1329ik@gmail.com

2025年度会費の納入について

4月に振替用紙を同封してご案内いたします。

北高夢ロード通信 第16号(年2回刊)

2025年3月20日発行

編集：会報編集委員会(戸田・穂枝・白岡・村上)

発行：北高夢ロード実行委員会

〒759-5511

山口県下関市豊北町滝部 218-5

Tel : 083-782-0084

ホームページ : <http://yumeroad.org>

E-mail : kitakoyumeroad@gmail.com